



◀豆をまく宮司の前に
集まる子どもたち

▶元氣よく豆をまく
児童たち（八幡神社
提供）



市内各地で節分行事

「鬼は外、福は内」の掛け声とともに

市内各地の神社などで2月2日、「節分」の行事が行われました。

中央地区・東本町区の八重垣神社で開催された「節分祭 追儺式」では、地元子どもたちなどが集まり、境内にまかれた豆を拾い、1年の幸せと無病息災を願いました。

共興地区・西小笹の八幡神社で開催された「節分祭」には、共興小学校の5年生の児童たちが参加。拝殿内で節分の意味などの説明を受けたあと、元氣な「鬼は外、福は内」の掛け声とともに豆をまいていました。

366人が健脚を競う

匝瑳市健康マラソン大会が開催

第52回匝瑳市健康マラソン大会が1月19日、野栄中学校周辺をコースとして開催され、参加した366人のランナーたちが健脚を競いました。

当日は、親子や小学生から一般までの全25部門でレースを実施。新年の“走り初め”として、号砲に合わせてスタートしたランナーたちは、沿道からの声援を受けながら、コースを駆け抜けました。

各部門上位の結果は、本紙10ページで紹介しています。



勢いよく走り出す参加者たち（男子中学校の部）



褒状を受け取った太田代表取締役

公益のために多額の私財を寄付

タイハイ(株)が紺綬褒章を受章

公益のために多額の私財を寄付した個人や団体に授与される「紺綬褒章」を、市内に本社のあるタイハイ株式会社（八日市場イ）が受章しました。

同社は、令和5年12月に地域振興のために市へ土地1474.37㎡（3407万5638円相当）を寄付したことから、6年9月21日付で紺綬褒章を受章。1月17日に行われた伝達式で、宮内市長から太田健治郎代表取締役へ褒状が手渡されました。

善行者を表彰

社会福祉施策充実のため軽自動車を寄贈

有限会社石毛モータース（上谷中）から、市の社会福祉施策充実のため、軽自動車1台（101万2000円相当）が寄贈されました。これに対し、同社を



石毛代表取締役（左）と宮内市長

善行者として表彰。1月23日に行われた表彰式で、宮内市長から石毛高之代表取締役へ表彰状が贈られました。

宝くじの助成金で和楽器を新調

地域コミュニティの活性化に

中央地区の豊富町区では、宝くじの社会貢献広報事業の一環として、一般財団法人自治総合センターからの助成を受け、同地区でお囃子演奏



助成を受け新調された和楽器

奏に使用する子ども用の和楽器を新調しました。新調された和楽器の活用により、地域の伝統芸能の継承と地域コミュニティの活性化が期待されます。



地域の伝統行事

市内で行われた伝統行事を紹介します。



仁組獅子舞

栄地区・栢田^{じくみ}集落で1月5日、獅子が各家を回り悪疫を払う仁組獅子舞が行われました。獅子は各家で華やかな舞を披露。訪問を受けた家の人たちは、獅子に自分の体をかんでもらい、健康を祈願しました(=写真)。

稲荷神社の綱かけ神事

匠瑳地区・山桑の稲荷神社で1月12日、大注連縄^{しめなわ}を鳥居に飾り、家内安全や無病息災を祈願する綱かけ神事が行われました。地元の人たちは、昨年の秋に収穫された稲わらを使い、力いっぱい注連縄を結び上げていました(=写真)。



金原の大篝

飯高地区・金原の三社大神で1月13日、かがり火^{かがり}をたき悪疫を払う金原の大篝が行われました。松や青竹を積み上げて作った大篝に火が入ると、勢いよく燃え上がり、無病息災が祈願されました(=写真)。

松山神社の筒粥神事

匠瑳地区・松山の松山神社で1月15日、青竹に入ったかゆと小豆の分量で吉兆を占う筒粥^{つつがゆ}神事が行われました。青竹42本の中身を確認し、今年の天候や作物の出来などが占われました(=写真)。



時曾根の大蛇まつり

豊栄地区・時曾根で2月8日、わらで作った大蛇を集落の入り口につるし疫病退散を願う大蛇まつりが行われました。巳年の今年は全長約3.5m~4mと、例年より長い大蛇3匹が住民たちによって作り上げられました(=写真)。

市の発展を目指し

匠瑳I.C.周辺まちづくり協議会を設立



抱負を語る鈴木会長(中央)

銚子連絡道路の匠瑳インターチェンジ周辺における関係権利者(地権者・借地権者)で構成される「匠瑳インターチェンジ周辺まちづくり協議会」が組織され、1月31日に市民ふれあいセンターで設立総会が開催されました。

協議会は、匠瑳インターチェンジ周辺で進める産業用地整備の具体的な事業化と関係権利者の合意形成などを目的に設立。市と一緒に事業における課題解決に向けて検討を進め、実際に開発を行う事業化検討パートナー(民間開発事業者)の公募・選定を目指し活動を行います。

総会において協議会の会長に就任した鈴木敏夫さんは、「意向調査の結果から皆さんが匠瑳市の発展を望んでいると感じています。事業の早期実現に向けて尽力していきたい」と抱負を述べました。

活動の成果を披露

公民館まつり、生涯学習祭



▲網や旗を使い、迫力のある演目を披露(生涯学習祭)



◀花結びの制作体験(公民館まつり)

八日市場公民館で2月1日・2日に「第20回公民館まつり」が、また、野栄総合支所では2月9日に「第14回生涯学習祭」が開催されました。

八日市場公民館、生涯学習センターを利用して文化活動などに取り組む団体や各講座の受講生が、1年間の活動の成果を披露する両行事。書道や絵手紙をはじめ、さまざまな作品が展示された他、歌やダンスなどの多彩な演目が披露されました。また、体験コーナーでは来場者たちが七宝焼きの制作や茶道などの体験を楽しんでいました。